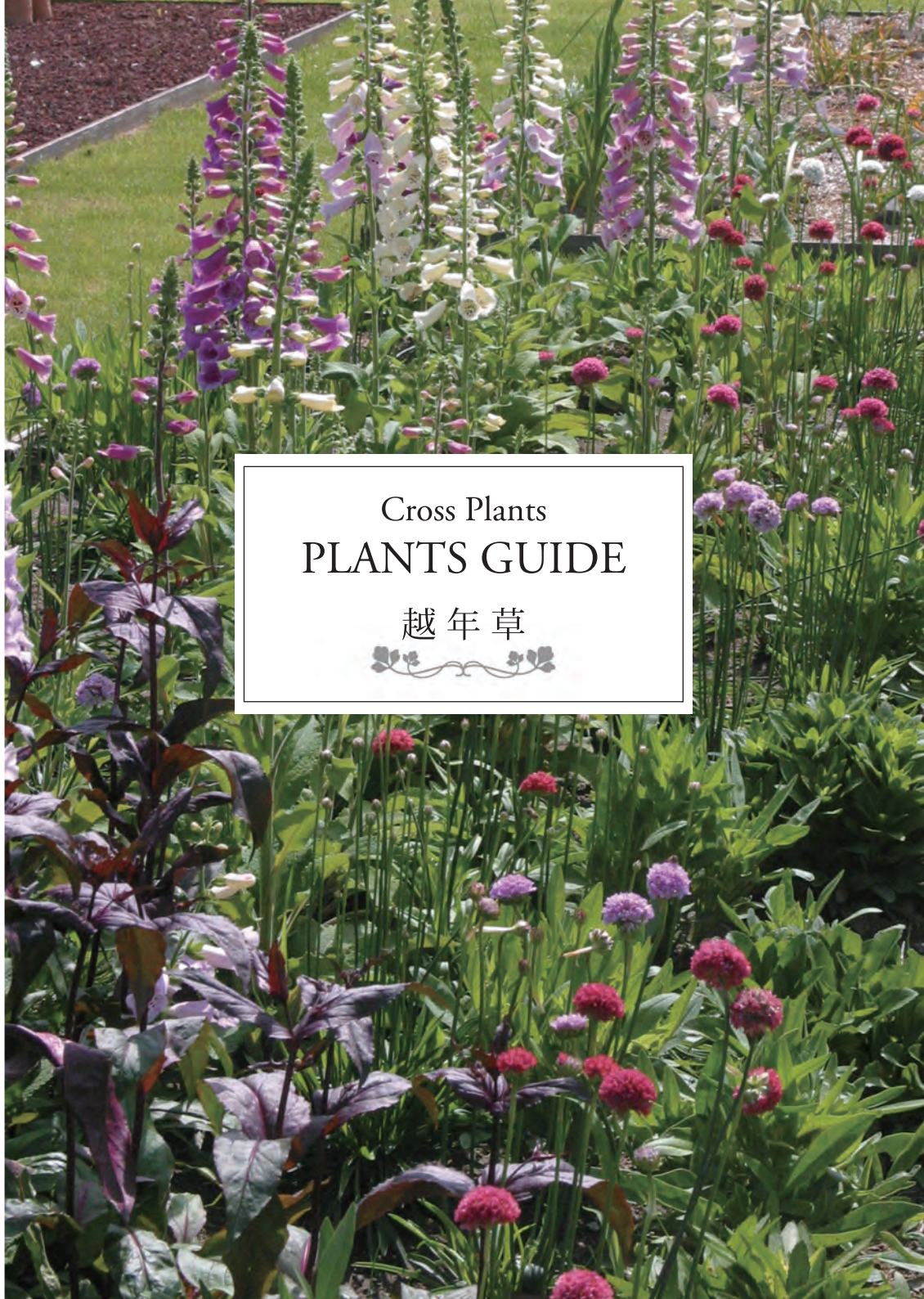
crossplants
MIYAZAKI PARKS ASSOCIATION

一般財団法人 みやざき公園協会 クロスプランツ

〒880-0837　宮崎市村角町東原 3113
TEL. 0985-74-8787（平日 8:30 ～ 17:30）
FAX. 0985-74-8788
E-mail crossplants@mppf.or.jp
ネットショップ https://crossplants.shop-pro.jp/

2019.11 月



Cross Plants
PLANTS GUIDE
越 年 草

越年草とは？

秋に発芽し冬を越して春に開花、夏頃には枯死する植物です。
クロスプランツでは、ジギタリスやアルメリアなど、本来は春咲きの宿根草ですが、
宮崎の暑い夏を越せないものを「越年草」として扱っています。
背丈の高くなるものが多く、一年草にはないボリュームと華やかさが魅力です。

クロスプランツでは、
ビオラと同じように簡単に栽培でき、美しい花壇づくりを担うものを
選りすぐっておすすめしています。

晩秋から初夏、
宮崎の温暖な気候のもとで緩やかに成長し、
植え付けてから半年で開花します。
ぜひ、越年草によるガーデニングライフをお楽しみください。

越年草の育て方

① 植付け
- 越年草の植え付けは、11 月中下旬が適しています。
- 苗を購入したら、すぐに植え付けましょう。
- 日当たりの良い花壇に植えてください。
- 植える時には、土の中に元肥えを入れておくと良いでしょう。

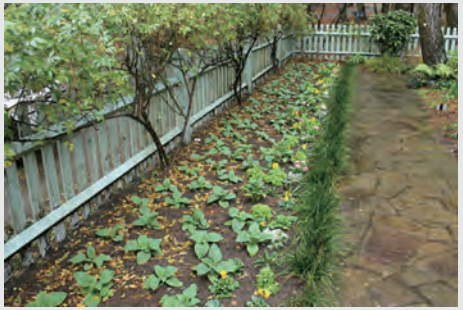
② 水やり
- 植えつけた直後は、水をたっぷりと与えます。
- その後は、表面の土が乾いたころに与えましょう。

③ 追肥
- ３月、温かくなり始める頃から与えると良いでしょう。
- 市販の化成肥料で大丈夫です。

④ 花がら摘み
- 早いものは３月から開花し始めます。
- 終わった花をまめに摘み取ると、全体の花つきが良くなります。
- ６月には全ての花が咲き終わります。

■ 花壇のイメージ

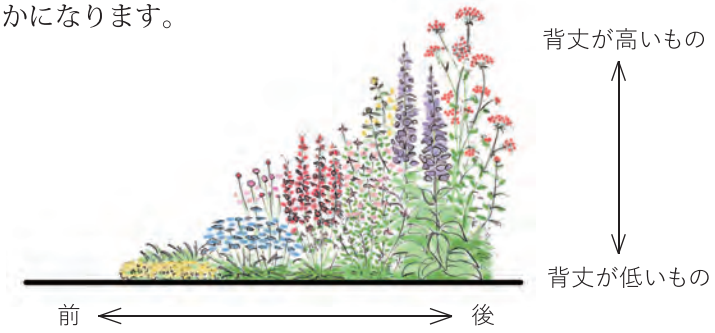
□ 1 月の様子



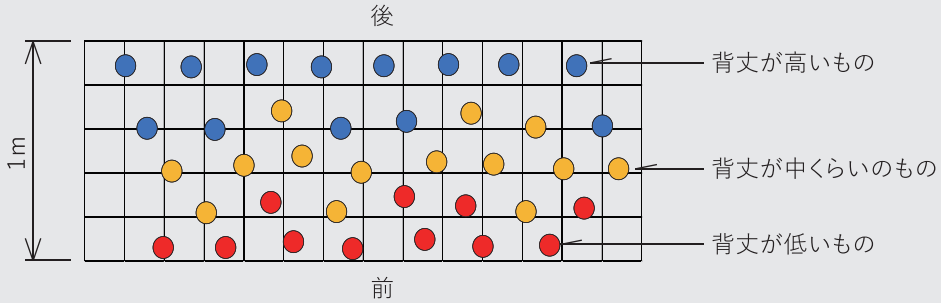
□ 4 月下旬の様子

花壇づくりのワンポイント

- 越年草のほとんどは大きく成長するので、地植えがおすすめです。
- 春にイングリッシュガーデンのような花壇をつくるには、植物の背丈に応じて配置を決めましょう。
- 背丈が高くなる植物は花壇の後方に、背丈が低くなる植物は前方に配置します。
- また、花壇前方の隙間にパンジーやビオラなどの一年草を入れると、足元まで彩られてより華やかになります。



■ 花壇を上から見た図



株間は、背丈が大きくなるものは 30 ㎝以上、それ以外は 20 ～ 30 ㎝とりましょう。

○ 背丈が高いもの（100cm ～） ホワイトレースフラワー、アザミ、ジギタリス、アルセアなど
○ 背丈が中くらいのもの（50 ～ 100cm） カンパニュラ、ラークスパー、デルフィニウム、ルピナス、オルラヤ、スターチス、セントランサス、カスミソウ、ニゲラ、美女ナデシコなど
○ 背丈が低いもの（～ 50cm） アルメリア、ペンステモン、クレピス、キキョウ、ナデシコ、ゲウム、フェリシア、セリンセなど

ジギタリス

学名：*Digitalis purpurea*
別名：キツネノテブクロ（狐の手袋）
科名：オオバコ科
花色：赤紫、桃、白、アプリコットなど
草丈：50 ～ 180cm
開花期：4 月下旬～ 5 月上旬

特徴と栽培ポイント

花は袋のような形をし、長く伸びた茎に穂状につきます。半日陰でも育てられます。
３月以降、株が急激に大きくなるので、植栽時は間隔をしっかりとあけましょう。
一番花が終わったあとは剪定することで次の花が上がってきます。

アルメリア

学名：*Armeria cv.*
別名：ハマカンザシ、オオハマカンザシ
科名：イソマツ科
花色：赤、桃、白、赤紫
草丈：40 ～ 60cm
開花期：3 月中旬～ 5 月上旬

特徴と栽培ポイント

細長い茎に丸いボール状に花を咲かせます。ドライフラワーとして使用されます。
細葉小型系品種がよく流通していますが、花壇では大型系品種が使いやすいです。終わった花をこまめに取り除くことで花の数が一層増えます。

クレピス

学名：*Crepis rubra*
別名：モモイロタンポポ
科名：キク科
花色：桃、白
草丈：30 ～ 40cm
開花期：4 月上旬～ 5 月下旬

特徴と栽培ポイント

道端に咲くタンポポに似ていますが、分類上は別の植物です。タンポポより大型で背も高くなります。次々と花を楽しむためには花が咲いた後すぐに摘み取ります。放っておくと綿毛ができて、タネを取ることができますが、発芽率は低いようです。

ニゲラ

学名：*Nigella damascena cv.*
別名：クロタネソウ（黒種草）
科名：キンポウゲ科
花色：薄青、紫、白、桃
草丈：40 ～ 100cm
開花期：4 月下旬～ 5 月上旬

特徴と栽培ポイント

ふさふさとした細長い葉とトケイソウのような花が目を引く植物です。花後の風船のような実はドライフラワーにも使用されます。こぼれダネにより秋には小さな株ができ、雑草と間違えて取り除かないようにすれば毎年花を楽しむことができます。

ホワイトレースフラワー

学名：*Ammi spp.*
別名：ドクゼリモドキ
科名：セリ科
花色：白
草丈：50 ～ 200cm
開花期：4 月中旬～ 5 月下旬

特徴と栽培ポイント

大型の越年草です。レースのように優雅な花は、切り花だけでなくドライフラーとしても優秀です。半日陰でも育ち、高さも葉張りも大きく成長するので、花壇の後方におすすめです。植栽時は 30 ～ 50cm 程度の間隔をあけたほうが良いでしょう。

アルセア

学名：*Alcea rosea*
別名：タチアオイ（立葵）、ホリホック
科名：アオイ科
花色：桃、黄、紫、白など
草丈：60 ～ 200cm
開花期：5 月下旬～ 6 月中旬

特徴と栽培ポイント

長く伸びた茎に大きな花をつけます。5 月中旬より茎が伸び、下から順に花を咲かせていきます。5 月からは強風で枝が倒れやすいので支柱をすると安心です。
開花前は虫がつきやすいので、春から定期的に殺虫剤を散布します。

オルラヤ

学名：*Orlaya grandiflora*
科名：セリ科
花色：白
草丈：60 ～ 80cm
開花期：5 月

特徴と栽培ポイント

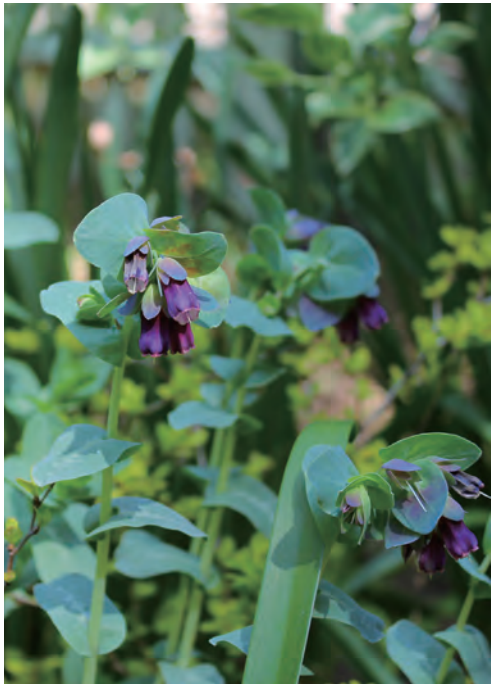
ホワイトレースフラワーと混同されやすいですが、オルラヤは中心部の花は小さく、外側の花が大きいのが特徴です。切り花としても使用されます。花壇の中では隣接する植物の隙間からも花を咲かせます。こぼれダネで増えやすく、翌年以降も楽しめます。

カンパニュラ

学名：*Campanula spp.*
別名：フウリンソウ（風鈴草）、ベルフラワー
科名：キキョウ科
花色：青、白、薄桃、薄紫
草丈：40 ～ 100cm
開花期：5 月上旬～ 6 月中旬

特徴と栽培ポイント

地面に張りついたような葉の中心から花茎がまっすぐに伸び、釣り鐘形の花をたくさん咲かせます。花壇用品種（タキオン、涼姫など）は数多くの花茎を伸ばすため一苗でも見ごたえがあり、数株をまとめて植えると花壇にボリュームが増します。

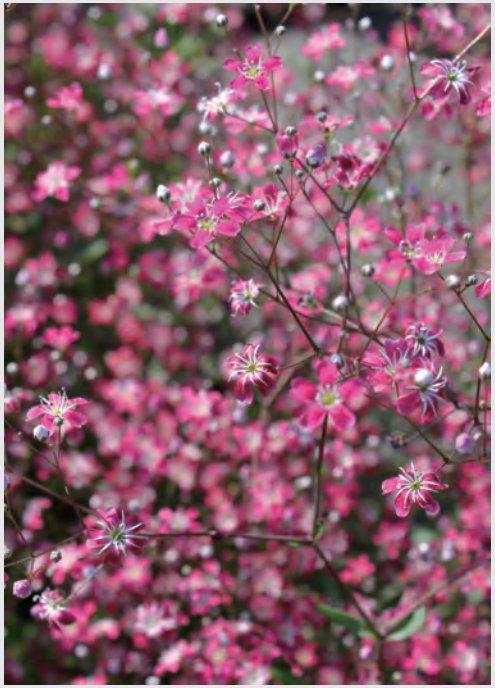


セリンセ・マヨール

学名：*Cerinthe major*
科名：ムラサキ科
花色：紫、黄
草丈：30 ～ 50cm
開花期：3 月下旬～ 5 月

特徴と栽培ポイント

光沢をもつ花と銀色を帯びた葉が美しい植物です。新葉には白い斑が出ますがいづれ消えます。
春先は急速に吸い上げるため水切れに注意しましょう。強い風や霜に当たると部分的に枯れることがあります。



カスミソウ

学名：*Gypsophila elegans*
科名：ナデシコ科
花色：白、桃
草丈：40 ～ 70cm
開花期：3 月中旬～ 5 月

特徴と栽培ポイント

花束でもよく使用されるカスミソウは地植えにすると膝丈程度まで成長し、無数の花を咲かせます。花が咲き始めると重みで茎が倒れやすくなり、自然にブッシュ状の草姿となります。背の高い草姿を楽しみたい場合は支柱をするとよいでしょう。

ルピナス

学名：*Lupinus polyphyllus*
別名：ノボリフジ（昇り藤）
科名：マメ科
花色：黄、赤、桃、紫、白
草丈：30 ～ 100cm
開花期：4 月下旬～ 6 月

特徴と栽培ポイント

フジの花を逆さにしたよう花は存在感があります。直根性のため根をほぐさないで植え付けます。開花には一定期間の低温が必要なので、１１月中旬までに植え付け、年内までに株を充実させ、真冬はしっかりと寒さにあてます。

ペンステモン

学名：*Penstemon cv.*
別名：ヤナギチョウジ、ツリガネヤナギ
科名：オオバコ科
花色：赤、桃、薄桃、薄紫、白、青
草丈：20 ～ 40cm
開花期：5 月～ 6 月

特徴と栽培ポイント

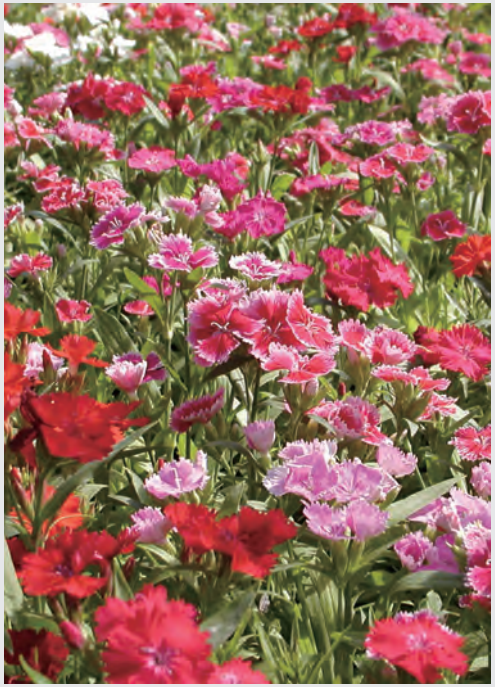
たくさんの品種があり、発芽から開花までの期間が短い品種が、宮崎の越年草として最適で、春に美しく開花します。それらは小型のものが多いので、花壇の前面に植栽するとよいでしょう。

美女ナデシコ

学名：*Dianthus barbatus*
別名：ヒゲナデシコ
科名：ナデシコ科
花色：赤、茶、桃、薄桃、白
草丈：50 ～ 60cm
開花期：3 月～ 5 月

特徴と栽培ポイント

花が枝の先端に 10 輪ほど固まって咲くのが特徴です。花茎が長く、花序にボリュームがあるので切り花にもおすすめです。
近年は開花に低温が必要ない品種が増えており、これらを宮崎で栽培すると真冬から開花することがあります。



ナデシコ

学名：*Dianthus × hybrida*
科名：ナデシコ科
花色：赤、白、紫、桃
草丈：20 ～ 50cm
開花期：3 月～ 5 月

特徴と栽培ポイント

秋の七草にも数えられるナデシコですが、園芸用としては、より鮮やかで多彩な花色と、草丈の低い品種が多いです。
夏越しできれば秋にも咲き、宿根草として数年楽しめます。夏越しには、春の開花後に花茎を切り風通しを良くします。

セントランサス

学名：*Centranthus ruber*
別名：ベニカノコソウ（紅鹿子草）
科名：オミナエシ科
花色：赤、白
草丈：50 ～ 60cm
開花期：3 月中旬～ 5 月下旬

特徴と栽培ポイント

秋の七草の 1 つであるオミナエシの仲間です。茎の先端に小花が集まり大きな花のように見えます。排水の良い場所に植え、春の開花後に短く切り詰めることで宮崎の夏を越し、宿根草として数年楽しむことができます。

キキョウ

学名：*Platycodon cv.*
科名：キキョウ科
花色：紫、薄紫、桃、白
草丈：15 ～ 40cm
開花期：5 月～ 6 月

特徴と栽培ポイント

野生のキキョウを園芸用に改良したものです。花壇や鉢植えには、背丈の低い品種が適しています。半日陰でも栽培でき、真冬は地上部を枯らして休眠します。宮崎の夏を越せる宿根草です。茎から出る白い液体は肌のかぶれに注意してください。

ゲウム

学名：*Geum cv.*
別名：ダイコンソウ（大根草）
科名：バラ科　花色：赤
草丈：30 ～ 40cm
開花期：3 月中旬～ 5 月下旬

特徴と栽培ポイント
一重咲きが主流でしたが、近年は八重咲が改良されています。直根性のため根をほぐさないで植え付けます。

スターチス

学名：*Limonium sinuatum*
科名：イソマツ科
花色：紫、薄桃、白、黄など
草丈：50 ～ 80cm
開花期：4 月下旬～ 5 月下旬

特徴と栽培ポイント
冬の寒さにあてると背丈が抑えられるようです。茎がしっかりとしているため倒れる心配はないでしょう。

フェリシア

学名：*Felicia heterophylla*
別名：るりひなぎく
科名：キク科
花色：薄青、紫、薄桃、白
草丈：15 ～ 20cm　開花期：4 月～ 6 月

特徴と栽培ポイント
ブルーデージーの仲間です。丈が小さいため、花壇の最前列に植えると、他の丈の高い植物の足元を隠してくれます。

ラークスパー

学名：*Consolida ajacis*
別名：チドリソウ（千鳥草）
科名：キンポウゲ科
花色：桃、薄桃、薄紫、白など
草丈：80 ～ 100cm　開花期：5 月～ 6 月

特徴と栽培ポイント
たくさんの花が穂状につきます。立ち枯れ病が発生しやすいので、日当たりと排水の良い場所に植えましょう。

アザミ

学名：*Cirsium japonicum*
科名：キク科
花色：赤、薄桃
草丈：50 ～ 120cm
開花期：4 月～ 5 月

特徴と栽培ポイント
野生のノアザミを園芸用に改良したものです。宮崎でも夏を越し数年楽しめます。とがった葉に注意してください。

（写真は大型品種）

デルフィニウム

学名：*Delphinium cv.*
別名：オオヒエンソウ（大飛燕草）
科名：キンポウゲ科
花色：紫、青、白、薄桃など
草丈：30 ～ 100cm　開花期：5 月～ 6 月

特徴と栽培ポイント
大型系と小型系の品種があります。大型は豪華ですが支柱が必要、小型は自然風なイメージで放任でも咲きます。